

第28回

日本精神科看護専門学会 オンライン集會

学術講演

オンライン交流

特定行為研修制度

精神科看護職の倫理

ライブ配信

オンデマンド配信

2021.10.16 土 — 10.17 日 / 2021年10月中旬より約2か月

学術講演／テーマ／「性暴力被害者の看護支援」

講師：長江美代子（日本福祉大学看護学部 教授）、山本 潤（一般社団法人 Spring 代表理事）
座長：米山奈奈子（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授）

パネル
ディスカッション／

- テーマ1 「病院と地域をつなぐ看・看連携」
コーディネーター：東 美奈子（訪問看護ステーション Relisa 管理者／精神科認定看護師／一般社団法人日本精神科看護協会 副会長）
- テーマ2 「長引く新型コロナウイルス感染症に伴う精神的支援」
コーディネーター：金子亜矢子（一般社団法人日本精神科看護協会 業務執行理事）
- テーマ3 「特定行為研修制度と精神科認定看護師制度」
コーディネーター：松永智香（JA 高知病院 副院長 兼 看護部長）

参加申込
受付期間

2021.7.8 木
—
9.21 火

お申し込み先 東武トップツアーズ(株) ソリューション営業部（川野辺／渡辺 ☎ 28jpna2021@tobutoptours.co.jp）

お問い合わせ先 日本精神科看護協会（☎ 03-5796-7033）※詳細は日本精神科看護専門学会専用ホームページをご覧ください。

日本精神科看護協会は、こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくれます。

主催：一般社団法人日本精神科看護協会

www.jpna-gakujyutsu.jp



第28回 日本精神科看護専門学術集会 オンライン

第28回日本精神科看護専門学術集会は富山県富山市で開催予定でしたが、コロナ禍における会場での開催は参加者などの安全の確保が困難なことから、オンラインの開催（ライブ配信およびオンデマンド配信）に変更いたします。なお、プレコングレス、一般演題Bは中止となりますので、ご了承ください。

ライブ配信

リアルタイムで視聴や交流ができます。

2021.10.16 土 – 10.17 日

10.16 土

午前 (10:00-11:45) * 9:15 ログイン受付

- 開会式
- 学術講演
テーマ「性暴力被害者の看護支援」
講師：長江美代子（日本福祉大学看護学部 教授）
山本 潤（一般社団法人 Spring 代表理事）
座長：米山奈奈子（秋田大学 教授）

午後 (13:00-17:15)

- パネルディスカッション
- テーマセッション
- ミーティングルーム
- 一般演題 A
（看護研究発表／業務改善報告／実践報告）
- 精神科認定看護師実践報告

10.17 日

午前 (9:30-12:00) * 9:00 ログイン受付

- パネルディスカッション
- ミーティングルーム
- 企業セミナー
- 一般演題 A
（看護研究発表／業務改善報告／実践報告）

午後 (13:00-15:30)

- 学術集会参加者交流企画
- 一般演題 A
（看護研究発表／業務改善報告／実践報告）

※プログラムや時間などは一部変更することがあります。

オンデマンド配信

いつでも何回でも視聴できます。

2021年10月中旬より約2か月

- 企業セミナー以外のライブ配信の録画
- 一般演題 A
（看護研究発表／業務改善報告／実践報告）

学術講演／テーマ

「性暴力被害者の看護支援」

座長：米山奈奈子 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授

講演
①

「ワンストップ支援センターの活動とトラウマケアの重要性」



講師：
長江美代子
日本福祉大学看護学部 教授

略歴：名古屋第二赤十字病院で看護師として勤務後、1997年 The University of Illinois at Chicago, College of Nursing で看護学修士／博士 (Ph.D) を取得。2005 年帰国後、大学で教鞭をとるかたわら、女性と子どものヘルプライン MIE とともに、DV 被害女性とその子どもを支援してきた。2016 年、名古屋第二赤十字病院と協同で「性暴力支援センター日赤なごみ」を立ち上げ運営。現在、(一社) 日本フォレンジックヒューマンケアセンター副会長、精神看護専門看護師 (ANCC 認定)、性暴力対応看護師、公認心理師。

性暴力被害は見過ごされて来たが、各県に1か所性暴力被害者ワンストップ支援センター（以下 OSC）が設置された。被害者は被害直後から急性ストレス症状に悩まされ、47～55%は PTSD を発症する現状に対し、ほとんどの OSC が、PTSD に対応する精神科を探すのに苦慮している。PTSD には自殺、依存症、再被害、失職・貧困、犯罪などの複合のリスクが伴う。そして被害の急性期対応の不整備に始まり慢性化して家族全体の健康を蝕み、次世代へと連鎖している。被害直後の急性期対応から PTSD 発症の予防・治療・回復までを含めた包括的な介入は喫緊の課題である。

講演
②

「社会を変える当事者活動 ～成果を上げるチームづくり～」



講師：
山本 潤
一般社団法人 Spring 代表理事

略歴：看護師、保健師。13 歳から 20 歳まで実父からの性暴力に遭い、様々なトラウマ症状に苦しむ。性被害に向き合い勉強を始め、2007 年 SANE（性暴力被害者支援看護師）研修修了、2010 年杏林大学大学院看護学修士取得。2017 年に日本初の被害当事者らを中心に法人化した一般社団法人 Spring 設立、刑法性犯罪改正を目指して活動中。著書「13 歳、「私」をなくした私 性暴力と生きることのリアル」（朝日新聞出版、2017）

日本で最も支援が遅れているのが、性暴力被害と言われます。2017 年に、性暴力被害当事者らが設立した一般社団法人 Spring は、刑法性犯罪の再改正へのロビイングを中心とした運動、性暴力への抗議を表すフラワーデモや他団体との連帯を経て、法務省の性犯罪改正を議論する検討会に代表理事が委員として選ばれるなどの大きな成果を挙げました。異なる役割を持ちながらも、力を結集して成果を上げるにはどうすれば良いか。変化を起こすチームづくりについてお伝えします。

パネルディスカッション

テーマ 1 「病院と地域をつなぐ看・看連携」

コーディネーター：東 美奈子
訪問看護ステーション Relisa 管理者
精神科認定看護師
一般社団法人日本精神科看護協会 副会長

テーマ 2 「長引く新型コロナウイルス感染症に伴う精神的支援」

コーディネーター：金子亜矢子
一般社団法人日本精神科看護協会 業務執行理事

テーマ 3 「特定行為研修制度と精神科認定看護師制度」

コーディネーター：松永智香
JA 高知病院 副院長 兼 看護部長

テーマセッション

「トラウマを抱える人への看護（災害・虐待などを含む）」

ミーティングルーム

- ルーム① 「日看版クリニカルラダー」
- ルーム② 「精神科看護にかかわる暴力と倫理」

学術集会参加者交流企画

- 企画① 「困りごとを話そう!」
- 企画② 「感染対策・管理についてききたい!」
- 企画③ 「現場での看護研究の悩みをシェアしませんか?」

プログラムの詳細やお申し込みは専門学術集会専用ホームページをご覧ください。 >> www.jpna-gakujyutsu.jp

参加申込受付期間：2021年7月8日(木)～9月21日(火)

- 参加費 会員 13,200 円／非会員 24,200 円（税込）※会員とは、一般社団法人日本精神科看護協会の会員をさします
- 申込方法 専門学術集会専用ホームページのみでお申し込みいただけます
- お申し込み先 東武トップツアーズ(株) ソリューション営業部（川野辺／渡辺 ☎ 28jpna2021@tobutoptours.co.jp）
- お問い合わせ先 日本精神科看護協会（☎ 03-5796-7033）

